

ソフトウェア開発者の 人材育成と組織活性化

プロジェクト道免許皆伝

人材が自ら育つ場づくり

テーマ設定の背景

キーワード

- モチベーション
- コミュニケーション
- 共鳴

フラクタルな自己組織：どこを見ても同じ組織

自己組織化: 声明は周囲からエネルギーを受け取り成長する

個々が継続的な成長を繰り返す組織やプロジェクトづくり

- 自己組織化はモチベーションの共鳴で生まれる
モチベーションは人との間で共鳴・増幅し、プロジェクトのモチベーションへと昇華
- プロジェクト道で人を育てる

議論の進め方

1. どうすればモチベーションを共鳴できるか
2. 人を育てる組織やプロジェクトとはどうあるべきで、どうやったらそれを作れるか

モチベーション, コミュニケーションの正体を知る

モチベーションとは

語源：MOTIVE + ACTION

目標を目指した行動

モチベーションの種類は、外的動機づけと内的動機づけ

- 外的動機付け

行為そのものではなく、外部からもたらされるものを目標として、実現のたえに
行為を行うこと

長期的ではなく、一時的

- 内的動機付け

好奇心など、内なる欲求に起因するもの

行動自体が目的となるため、高い集中力が発揮されやすく、進んで行動し、学び、最適化しようとする傾向にある

モチベーションのタイプ

- *will* やりたい
未来の理想を考える
長期的な目標から逆算
- *can* やれそう
自分でできると思えるやる気
ぎりぎりをせめる
- *must* やるしか
締め切り直前のやる気
短期目標をこまめに

三大神経伝達物質について

- ドーパミン

快感, やる気, 学習能力, 運動機能や記憶力といった働きをつかさどる

- ノルアドレナリン

精神を興奮させる. やる気を高める半面, 「不安」などの負の感情, 精神状態とも深く関係

- セロトニン

睡眠や食欲に大きな影響を与え, ストレスによるイライラを抑えて, 心身の安定や心の安らぎなどにも関与

→ この三つのバランスがモチベーションへ関与すると考えられる

コミュニケーションとは

頭でわかるだけでなく心に響く必要がある

相手の心に届いてるのかを確認

相手の言葉を心で受け取り、できなかつたら真意を尋ねる

モチベーションが共鳴する原理

やりたい, やらなきゃ, やれそうの重なりが拡大すること

モチベーションの高さ = 目標の魅力[will] x 危機感(使命感)[must] x 達成可能[can]

モチベーションの共鳴

「心理的安全性」が確保されている場において個々のモチベーションがお互いを刺激しあい、互いに増幅すること
この場づくりをしっかりとすることが大切

実態把握

場崩れ

上司，部下が高いプレッシャーを受け，追い詰められている
お互いに意識しあい，自己完結させてしまう

組織が活性化し，人材育成につながるプロジェクト像
自らの規範に従って，自ら思考し，自ら行動すること

繰り返し続くプロジェクトにとっての共通の課題は「人を育てること」
目的を人材育成と定め，その観点でプロジェクトを遂行する

プロジェクト管理からプロジェクト道へ
～目標から目的へフォーカス～

結論

心

心の三原色

- ドーパミン
やりたい
意欲を書き立てる
- ノルアドレナリン
やらなきゃ
不快を支配不安やストレス反応をつかさどる
ストレスに動じない
- セロトニン
やれそう
舞い上がる
極限で威力をはっき

無心の心

1. 現状を直視し，やらなきゃの力を生み出す
2. やらなきゃ~やれ層へ
3. 即行動でやるきすいっちを，ドーパミンでやりたいを拡大
4. 結果ゾーンへ -> 最大の能力を発揮する

場

- やってみせ，言って聞かせてさせて店，ほめてやらねば人は動かじ
- 外発的要因も使いながら，内発的モチベーションをうまく引き出す

アドラー幸せの3要素

他社信頼，他社貢献，自己受容

理想とする場とは安心の場を重視したプロジェクト運営

会議の行い方の例

議長

- 安心の場づくりに徹する
場づくり
- 威圧感を与えない
不安を率直に言える安心感
発生してしまった問題の責任を深追いしない

発言の勇気をたたえる

他社のためにもなることを実感

遅れの原因はつきゅうしない

型

1. 目標の先にある目的を共有すべし
メンバー間で方向性を合わせる
2. やる気スイッチをドーパミンで押す
スモールスタート
3. 心に届きあう対話をすべし
場が大切
4. なんとなくを広い, 突き詰める
違和感を大切に
5. 習慣「実は」, で話しやすい雰囲気を作勢
言ってくれた人の勇気をたたえる, 悪い報告を早めに行えるように
6. ほめるよりもありがとうと伝える
場づくりに最適, ほめられると依存する
7. 炭田呼吸で平常心を保つべし
平常心を保てる

鍛

プロジェクト道をすすめるために

1. 目覚めてすぐに朝日を浴びる
セロトニンは不足しがち、太陽の日が必要
2. 炭田虚空法を毎日30分100日以上継続
セロトニン神経が活性化し、アルファ波
覚醒状態で自己があり、
3. リズミカルな運動を毎日20分実施
大豆、カツオ、バナナを好んで接種せよ
アミノ酸が心身の健康に最適である

プロジェクト道とは

人が疲弊するプロジェクトとは

人が来てもプロジェクト自体から毒素が出て人も疲弊

型，場，心があるうえでプロジェクトを実行すると人は成長し，プロジェクト自体も成長する